



稲を刈り取る子どもたち＝熊野市五郷町で

黄金色の稲たわわに

熊野 五郷小児童が刈り取り

熊野市五郷町の田んぼで十五日、五郷小学校の児童十人が鎌を使う稲刈りに挑戦し、黄金色に実ったもち米の稲穂を刈り取った。

田んぼは学校近くにあり、地域住民の協力を得て五月に田植えを

実施。無農薬を意識してアイガモ農法も取り入れ、成長を見守ってきた。

この日は地元の婦人会や老人会、JA関係者ら二十人の手伝いも

あり、児童は慣れない手つきながらも次々と刈った。三年の榎屋美桜さん(九)は「地域の人たちと一緒にお餅を食べるのが楽しみ」と話していた。

もち米は十二月に予定する収穫祭の餅つきに使われる。

(福永保典)